



“命”をつなげる ～多様な他者とつながる力を～

マスコミによる、痛ましい事件や事故の報道が後を絶ちません。中には、小さなお子さんや小中学生が命を落とすような事件や事故も起きています。

人間や動物、昆虫などの生き物には、すべて命があります。命があるからこそ生きているのです。しかしその命がどれだけ大切か、また儚い(はかない)ものかをいつも意識して生活することはあまりありません。

私ごとですが、一昨年の1月に姉を亡くし、昨年3月には母を亡くしました。姉は仕事始めの日に、出勤した会社でくも膜下出血のため倒れ、母もいつもより持病のぜんそくがひどいので、「ちょっと病院で診てもらってくるね」と言い残して受診した翌日に急性心不全で帰らぬ人となってしまいました。命の儚さを痛感した一年でした。

自分の命も他人の命も、すべての命に重さの差はありません。どの命もとても大切に尊いものです。その一つ一つの命を大切にすることは、結果として自分を大切にすることと自分の周囲を大切にすることにつながります。

今年度の本校の目標は、「一人一人が自分のよさを発揮でき、多様な他者とつながる集団づくり」です。授業の中、部活動の中、行事の取組の中、そして日常の何気ない生活の中で、お互いの良さを認め、相手の気持ちに寄り添いながらしっかりと話を聞き、理解しようとする、そして、自分の考えを丁寧にしっかりと伝えようとするなど、積極的にコミュニケーションを図り、いろいろな人と良い関係を築くことができる、そんな『つながる力』を身に付けてほしいと思います。『つながる力』は、困ったときに「助けてほしい」と言える力でもあります。思いやりの心を大切に、誰もが互いに助け合っていける学校、全校がつながり、お互いがお互いを大切にできる学校にしていきたいです。
(校長 中原 悟)

新人体育大会 全力で頑張りました！



9年生が部活動を引退した後に8年生を中心にチームづくりをし、それぞれの運動部で日々の活動に取り組んできました。9月13日(金)新人戦壮行会では、みんなからのエールに力をもらい、9月19日(木)、20日(金)新人体育大会では、各部とも持てる力を発揮しました。保護者の皆様におかれましても、たくさんの応援をいただき、ありがとうございました。



【9/19(木)・20(金) 市新人体育大会】

- ・軟式野球部 対勝田三中 3-7 惜敗
- ・サッカー部 予選リーグ 対佐野中 1-0 勝利 対勝田中等 1-1 引分 対那珂湊中 0-6 惜敗
3位決定戦 対勝田三中 1-2 惜敗
- ・バスケットボール部 予選リーグ 対大島中 96-26 勝利 対勝田一中 42-49 惜敗
決勝リーグ 対勝田二中 39-52 惜敗 対佐野中 36-60 惜敗
- ・バレーボール部 予選リーグ 対勝田中等 2-1 勝利 対田彦中 1-2 惜敗 対勝田二中 0-2 惜敗
- ・男子ソフトテニス部 【団体戦】リーグ戦 対湊クラブ 1-2 惜敗 対佐野中 1-2 惜敗
【個人戦】第10位 中央地区進出
- ・女子ソフトテニス部 【団体戦】リーグ戦 対佐野中 2-1 勝利 対勝田三中 1-2 惜敗 対勝田二中 2-1 勝利
【個人戦】第9位 中央地区進出
- ・柔道部 【団体戦】優勝 中央地区進出(団体・個人)

【9/26(木)・27(金) 県新人陸上競技大会】 4×100m リレー 共通男子 51秒20、共通女子 56秒43
1年女子 100m 14秒22、14秒33

【9/28(土) 中央地区新人水泳競技大会】 ※県大会進出

男子・50m自由形 31秒54、34秒66、37秒29、41秒57 ・100m自由形 1分24秒91、1分24秒67 ・100m平泳ぎ 1分27秒95
女子・50m自由形 34秒46、36秒27 ・100m平泳ぎ 1分41秒05 第5位

学びの秋！ さまざまな学習場面で、心豊かな学びを

9月は各学年において、さまざまな学びの場面がありました。1・2年生はタブレットを活用して学習を展開しています。1年生はドリルパークやオクリンクプラス等のアプリを活用して学習を進められるようになりました。2年生は、生活科の町探検に向けてひたちなか海浜鉄道の各駅から見学地までの道順をGoogleマップで調べながら準備しています。3年生は社会科のスーパーマーケット見学、4年生はいくり苑訪問など、地域の方々の協力を得ながら校外学習を行いました。また人との関わりを大切にするために、6年生は学級活動でアイスブレイクを取り入れ、5、7年生は人権擁護委員をお招きしての人権教室を行いました。8年生は、キャリア教育として「みんなの海洋高校プロジェクト」に参加。5つのコースに分かれ、さつま揚げやパン作り、船の施盤のコマ作り体験など貴重な体験ができました。9年生は「地域の自然を大切し、みんなで郷土に愛着をもちたい」という思いから、自ら海岸清掃・磯遊びを企画実践しました。これからも美乃浜地区の地域・人との関わりの中で、豊かな心の成長につなげていきたいです。



1年タブレット学習



2年町探検計画



3年スパーマーケット見学



3年親子学習会



4年いくり苑訪問



5年人権教室



6年アイスブレイク



7年人権教室



8年みんなの海洋高校プロジェクト



9年消費生活講演会



9年海岸清掃・磯遊び

4月実施の小6・中3全国学力学習状況結果について

4月18日（木）に6年生、9年生を対象に令和6年度全国学力・学習状況調査を実施しました。調査の結果から、本校では以下の学習内容に課題が見られました。課題に応じて指導方法を工夫し、児童生徒の学力を向上できるようにしていきます。なお、調査結果個票を後日児童生徒に配付いたします。

①【知識及び技能（基礎・基本）の定着】

漢字や計算など基礎・基本となる設問の正答率が低い傾向にありました。漢字においては、文の中正しく使うことを苦手としています。語彙力の少なさも原因の一つです。計算では、速さや道のり、 x や y などを用いた計算を苦手としています。

②【複数の情報を関連付けて思考したり、判断したりする力】

国語では、文章の中から事実・感想・意見等を内容を踏まえて区別して読むことや複数の情報（資料）から適切な情報を取り上げること、算数、数学では、「データの活用」（折れ線グラフ）や「図形」（球の体積）領域の問題などデータの分布状況の傾向を捉えたり、複数の情報を比較して考えたりすることに課題がありました。

③【自分の考えを伝える力】

国語では、目的や意図に応じて自分の考えを書いたり話したりすることを苦手としています。特に資料の情報を適切に取り出し、根拠を明確にして説明することの定着が必要です。算数、数学においても数学的な表現（言葉、数）を用いて説明する力を身に付けることが必要です。

【児童生徒質問紙から】（一部抜粋）

次のような傾向の児童生徒は、問題の正答率や挑戦心、自己有用感、幸福感が高いことが分かりました。

- ①規則正しい生活習慣（朝ご飯を毎日食べる、十分な睡眠時間等）が身に付いている。
- ②本や新聞を読んでいる。
- ③ゲームをしたり動画を見たりする時間が家庭で決められている。